

大御堂観音寺：十一面観音立像

大御堂観音寺の御本尊は十一面観音で、この寺の建立時から祀られているものです。奈良時代に作られたもので、十一面観音として国宝に登録されている 7 体のうちの一つです。この観音寺の十一面観音は穏やかな女性らしさをたたえ、静かな表情を備えていることが特徴です。漆を盛って作る技法の乾漆、より詳しくは木心乾漆造で作られている。この技法が用いられているのは上記の国宝の中でも本像を含めて二体だけです。